

講演と映画の夕べ

1948年に軍隊を廃止。軍事予算を社会福祉に充て
国民の幸福度を最大化する道を選んだ
コスタリカの奇跡に迫ったドキュメンタリー。

積極的平和国家のつくり方

コスタリカ の奇跡

A BOLD PEACE

☆日時 8月10日(金) 開場 17時30分

上映 18:00～19:30 「コスタリカの奇跡」

講演 19:40～20:30 「コスタリカから日本へ～憲法を活かす社会」

☆講師 伊藤千尋氏 国際ジャーナリスト・元朝日新聞記者

☆会場 麻生市民館大会議室 小田急線新百合ヶ丘北口徒歩2分

☆資料代 1000円

主催：緑の道9条の会

連絡先 090-4457-9979 (矢沢)

■推せん・メッセージ

中野 晃一 (政治学者・上智大学国際教養学部教授)

『コスタリカの奇跡』に多大なインスピレーションをもらいました。この『奇跡』は偶然や幸運の産物ではなく、知性と勇気のある人たちの取り組みが生み、育んできているものだからです。政治を変えて、平和を築き守るのは私たち一人に掛かっています。

望月衣塑子 (東京新聞記者)

日本国憲法9条とコスタリカの平和憲法がほぼ同時期に生まれていたことを、映画を通じて初めて知った。この歴史的な偶然と必然を知り、ただただ感動せずにはいられなかった。コスタリカは、アメリカに再三、再軍備化を要求されながらも、拒否を続け、軍隊のない平和国家の礎を築いた。軍備を持たない国であり続けるには、人類にとって平和とは何か、人類はどの方向に突き進むべきかを、絶えず考え、問い直す作業が必要だ。この映画は現在を生きる私たちに、いま何を未来のために問うべきかを、改めて考える貴重な時間を与えてくれた。

湯川 れい子 (音楽評論家・作詞家)

この映画を見ていると、非武装は決して非現実的な空想ではなく、子どもを戦争に盗られたくない、二度とあの悲惨な戦争を味わいたくないと願う人々の夢が、現実的な努力と知性、あきらめない教育によってもたらされる現実の果実だということが解ります。なんと美しい、素晴らしい現実でしょう。国民の感性、知性、豊かな自然環境と憲法9条を持って、『コスタリカの奇跡』を、ぜひ日本の奇跡にしたいものです。自主上映の輪を広げていきましょう！

松元 ヒロ (コメディアン)

奇跡だけど現実なのです。理想を現実にした国があるのです。軍隊をなくしたのです。約70年それ続けてきたコスタリカの人々の自信と誇りと、その喜びがスクリーンから伝わってきます。「軍隊は過去のもので。戦争は病気で平和が普通なのです」の言葉がこんなに説得力をもつのだ……と感動しました。「理想と現実が違う」と平和憲法をたった70年で変えようとしている人たちにこそ、観てほしい映画です。

推せんします (敬称略) : アーサー・ピナード (詩人)、伊藤真 (弁護士・伊藤塾 塾長)、堀尾輝久 (教育学者、「9条地球憲章の会」代表世話人)

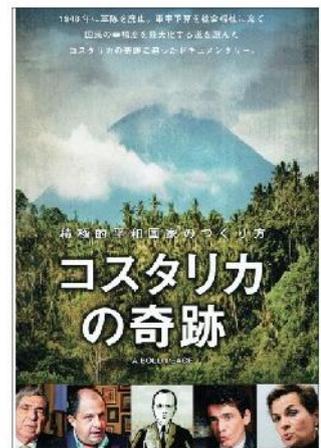


☆☆☆ 平和が文化となった国、理想を現実にした国コスタリカ —— 珠玉の言葉が、深い感動をよぶ!! ☆☆☆

解説……世界には軍隊なしで国の平和を保ってきた国々がある。そんな数少ない国の一つで、1948年に常備軍を解体した国が中米のコスタリカだ。コスタリカは軍事予算をゼロにして無料の教育、無料の医療を実現し、環境のために国家予算を振り分けてきた。その結果、地球の健全性や人々の幸福度、そして健康を図る指標「地球幸福度指数 (HPI) 2016」の世界ランキングにおいて、140ヶ国中で世界一に輝いているのがコスタリカである。また、中南米で最も安全とされている国でもある。

本作は、1948年から1949年にかけて行われた軍隊廃止の流れを追いながら、コスタリカが教育、医療、環境にどのように投資していったのかを詳しく説明する。米国では公的債務、医療、そして軍事費が日増しに増大していることとは対照的だ。

映画には軍隊廃止を宣言したホセ・フィゲーレスや、ノーベル平和賞を受賞したオスカル・アリアスなどの元大統領、イラク戦争に賛同した当時の大統領を憲法違反で訴えたロベルト・サモラ弁護士、ほかジャーナリストや学者が登場し、世界がモデルにすべきコスタリカの壮大で意欲的な国家プロジェクトが、珠玉の証言によって明らかにされる。



■『コスタリカの奇跡』大特集
一、完全採録シナリオ、コスタリカ入門
落合恵子、アーサー・ピナード、小森陽

▲シネ・フロント別冊 38号 本体800円+税

講師紹介



伊藤 千尋 氏

1949年、山口県生まれ、東大法学部卒。74年、朝日新聞に入社し社会部、外報部などを経てサンパウロ支局長 (中南米特派員)、バルセロナ支局長 (欧州特派員)、ロサンゼルス支局長 (米州特派員) を歴任。2014年からフリーの国際ジャーナリスト。これまで82か国を現地取材した。NGO「コスタリカ平和の会」共同代表、「九条の会」世話人

著書に『9条を活かす日本～15%が社会を変える』『凜とした小国』『一人の声が世界を変えた』『辺境を旅ゆけば日本が見えた』(以上、新日本出版社)、『反米大陸』(集英社新書)、『燃える中南米』(岩波新書)、『今こそ問われる市民意識』(女子パウロ会)、『キューバー超大国を屈辱させたラテンの魂』『観光コースでないベトナム』(以上、高文研)、『地球を活かす一市民が創る自然エネルギー』『活憲の時代～コスタリカから9条へ』(シネフロント社)、『太陽の汗、月の涙』(すずさわ書店) など。